



サーキュラーエコノミーへの移行を推進しよう！

サーキュラーエコノミー（循環経済）とは

「サーキュラーエコノミー（循環経済）」は、わかりやすく言うと「まあるい経済」。その名のとおり、あらゆるものをぐるぐると循環させる経済です。この考え方では、私たちの行動も、「ものを買う」「ものを使う」「資源ごとに分ける」「資源をまわす」その結果生まれた「ものを買う」…というように、ぐるぐると循環させていくことが大切です。

「新たに採取した原料により製造し、使用後にそのまま廃棄する」という従来からの一方通行の仕組み（線形経済）に対して、サーキュラーエコノミーは、天然資源の利用と廃棄物の発生を最小化し、資源を長く維持する「循環型」の仕組みです。サーキュラーエコノミーへの移行は、持続可能な社会をつくるとともに、経済的にも成長していくことを目指すものです。

経済産業省「サーキュラーエコノミーをわかりやすく、行動しやすくするサイト」より



地球温暖化とサーキュラーエコノミー

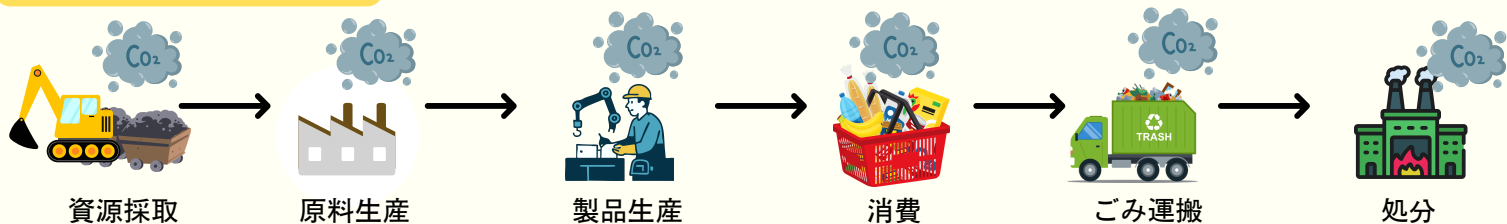
サーキュラーエコノミーへの移行は、地球温暖化防止につながります。ごみをたくさん排出すると、ごみを処分場へ運搬し、焼却処分するために、多くのエネルギーが必要になります。また、生産から廃棄までのそれぞれの過程でもエネルギーが使われ、CO₂が排出されます。新たな資源の採取、商品の生産、廃棄物発生などを最小限に抑えることが、地球温暖化防止に効果的です。

また、環境省が2026年3月27日に公表した最新のデータによると、一般廃棄物処理事業経費は年間2兆4,489億円に達しました。ごみの処分には、こんなにも莫大な税金がかかっています。

ごみを減らすことで、CO₂の排出を抑え、地球温暖化防止につなげましょう！

環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和6年度）について」より

製品のライフサイクル



減らそう！プラスチックごみ

プラスチックは、私達の身のまわりにあふれていますが、石油由来であり、製造時や処分時に大量のCO₂が排出されます。

また、陸から海や川に流れ込んだプラスチックごみは、海洋環境の悪化や漁業、観光への影響など、様々な問題を引き起こしています。例えば、生態系との関係では、世界中で死んだ海鳥の胃の中から誤って食べたプラスチックが多く見つかり、魚の胃の中からも細かいプラスチックが発見されています。また、紫外線や海の波によって5ミリ以下に小さくなったマイクロプラスチックは、人間の体内からも検出されており、健康への影響も懸念されています。

使い捨ての食器や容器の使用を減らすことや、バイオマスプラスチックの製品を選ぶことなど、プラスチックごみを減らすために、できることから取り組みましょう。



環境省ecojin「海がプラスチックで溢れる!？」より

今日から始めるサーキュラーエコノミーへの移行推進！

かう

- ・長く使えるモノを買う
- ・再生材でできたモノを買う
- ・リユース品を選ぶ



つかう

- ・丁寧に、ながく使う
- ・定期的にメンテナンスする
- ・壊れたら直して使い続ける



わける

- ・自治体の分別ルールをまもる
- ・洗って、分解して、素材ごとに分別する
- ・店舗や企業の回収ボックスを利用する



まわす

- ・リユースショップやフリマアプリを使う
- ・使わないモノを寄付する
- ・自治体のリサイクルセンターを活用する



県内で広がるリサイクル・アップサイクルの取組

リサイクルとは、廃棄物や不用品を原料や燃料として再活用することです。また、アップサイクルとは、いらなくなったもの、捨てられるものに、アイデアやデザインなどの付加価値を加え、別の物にアップグレードすることです。

滋賀県では、粗大ごみとして捨てられた木製家具を修理し、販売する実証事業「リペアチャレンジ」を実施しています。

一方、淡海環境保全財団では、冬に刈り取った琵琶湖のヨシを原材料として作った腐葉土を販売しています。

滋賀県全体で、リサイクルやアップサイクルをもっと推進していきましょう！

【滋賀県】 リペアチャレンジ



▼詳細はこちら



<https://www.pref.shiga.lg.jp/df00/15155.html>

【淡海環境保全財団】 ヨシ腐葉土



▼詳細はこちら



https://www.ohmi.or.jp/yoshi/selling_yoshi/

【お知らせ・イベントPR】 「デコ活」講演会

日時：11月29日 日
14:30～16:00（開場13:15）

場所：コラボしが21 大会議室
（滋賀県大津市打出浜2番1号）

講師：牧田 習博士（昆虫ハンター）

演題：昆虫たちが教えてくれる地球温暖化

定員：140名（申込先着順）

申込：QRコードからお申込みください。

問合せ：公益財団法人 淡海環境保全財団
TEL：077-569-5301（平日9:00～17:00）



▼申込はこちら



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd8tVHfWNgTNNKbCmTcUPubjohEeUJoCCJNK-LVDvC-Bw/viewform?usp=sharing>

読者キャンペーン

以下のQRコードより、アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で7名様にプレゼント！

ピーターラビットのお話でも描かれているガーデンを表現したタオルです。不要となったタオルをリサイクルした『REBORN COTTON』を使用して作っています。

『PETER RABBIT』 タオルハンカチ

【応募締切】▶令和8年11月30日

- 画像はイメージです。
- 当選発表は、プレゼントの発送に代えさせていただきます。
- 過去にご応募いただいた方も応募が可能です。

1分程度で終わります！ 申込はこちら▶



<https://tkz.graffier.jp/pre-shiga-smart-anquyisurveys/4478542822863487304>



滋賀県では、「2050年までにCO₂排出量を実質ゼロ（＝CO₂ネットゼロ）にすること」を目指しています。琵琶湖をはじめとする豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため、一緒に「しがCO₂ネットゼロムーブメント」の取組を進めていきましょう！

活動に賛同いただける方は、左記QRコードから「CO₂ネットゼロ」に向けて行動することの宣言をお願いします。

発行 滋賀県 総合企画部 CO₂ネットゼロ推進課
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号
TEL：077-528-3494 FAX：077-528-4808
E-mail：cg00@pref.shiga.lg.jp

編集 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター